



写真：玉川村特産品のさるなし

第 14 号（令和元年 10 月発行）

～目次～

- 特集：福島県農業賞について P.1～2
- 農林業関係の動き P.2～5
- 頑張る農林業者！！ P.6  
～株式会社アメリカ屋（郡山市）～
- おいしい6次化商品 P.6  
～石川町の大野農園 ORAGENO（オラゲーノ）の  
ピザ～
- 各部・各普及所の紹介 P.7  
～須賀川農業普及所～
- お知らせ P.7～8

はじめに、このたびの台風十九号により、亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

県では、被災された方々が一日も早く元の生活を取り戻されるよう、被災箇所の復旧と被災者の生活再建に全力で取り組んでまいります。

## 特集：福島県農業賞について

県内の農業分野で最も権威ある賞の一つである「第 60 回福島県農業賞」の表彰式が、8月27日杉妻会館において行われました。

県中管内では、古川一郎さん・トモ子さんご夫婦（郡山市）が農業経営改善部門で受賞されました。また、株式会社OFs-Link（三春町）が農業賞 60 周年を記念した特別功労賞で受賞されました。

### 「農業経営改善部門」とは

経営内容が計画的であり、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体及び農業法人に贈られる賞です。

### 「特別功労賞」とは

福島県農業賞創設 60 周年を記念し、設けられた賞です。福島県農業賞第 41 回から第 50 回の経営改善部門受賞者のうち、受賞を契機として、さらなる経営改善に発展し、地域農業の振興のための活動に積極的に取り組んでいる農業経営者に贈られる賞です。

## 農業賞受賞 ふるかわいちろう 古川一郎さんのご紹介 【農業振興普及部】

第60回福島県農業賞農業経営改善部門を受賞した郡山市のふるかわいちろう古川一郎さん・トモ子さんご夫妻は、郡山市中田町柳橋で和牛50頭の繁殖経営を営んでおり、年間40頭の子牛を販売しています。地元稲作農家との協力の下で飼料稲を栽培、自身の農地9haで牧草を生産し、飼料費の低コスト化を図りながら、中山間地域の農地活用と水田農業の維持発展に貢献しています。

さらに、郡山市農業委員や地元 JA の理事なども長年務められ、地域農業、特に畜産の発展と青年農業者の育成に力を注いでこられたことが評価されての受賞となりました。



ふるかわいちろう こ  
【古川一郎・トモ子ご夫妻】

## 特別功労賞 株式会社 おふ りんく OFs-Linkのご紹介 【田村農業普及所】

第60回記念・特別功労賞を受賞した三春町の株式会社おふ りんくOF s-Linkは、キュウリを主力にトマト、メロンに加え、露地野菜を周年で栽培し、JA、地元市場、スーパーのほか、独自に首都圏への販路拡大を図っています。きゅうりにおけるソーラー自動灌水システムの導入や高糖度トマト栽培など、新たな栽培技術にも積極的に取り組み、品質・収量の向上に努めるとともに、地域では初めてとなるJGAP認証を取得し、農産物の安全確保や環境保全等に努めており、消費者からの信頼を得ています。



おふ りんく おおうち  
【株式会社OFs-Link 大内さん】

## 農林業関係の動き

### ふくしま県 GAP (FGAP) 認証書交付式を行いました！【農業振興普及部】

8月29日にJA福島さくら郡山地区湖南夏秋とまと生産部会が、FGAPに認証され、9月2日に当所において、FGAP認証書交付式を行い、渡部県中農林事務所長より、古澤部会長へ認証書を手渡されました。

当部会は、郡山市湖南地区の標高500mの冷涼な気候を生かして、生産者23戸が402aの面積でトマト栽培に取り組み、主に京浜方面へ出荷しています。GAPの取組をきっかけに、部会員の意識や捉え方が変化し、作業環境の安全性確保や生産物の適正な取扱いなどの意識が高まりました。

今後も継続して、GAPの取組を通じたさらなる改善活動を行っていくことで、市場や消費者からの信頼維持と将来につないでいける部会運営を目指します。



【認証書交付式の様子】

## 令和元年度 JA 夢みなみ梨品評会が開催されました！【須賀川農業普及所】

8月30日に、梨の栽培技術と品質の向上と、風評払拭に向けた安全・安心な梨のPRを目的に、JA夢みなみ梨品評会が開催されました。今年も、梨「幸水」67点の出品があり、色目、形状、玉揃い等の外観について審査が行われました。審査の結果、あぶくま石川地区の遠藤恵子えんどうけいこ氏が県知事賞を、すかがわ岩瀬地区の安藤仁志あんどうひとし氏がJA全農福島県本部長賞を受賞されました。出品された梨については、品評会終了後にJAの各直売所で販売しました。



【品評会の様子】



【出品された梨「幸水」】

## ららぽーと横浜で6次化商品PRを行いました！【企画部】

8月31日～9月1日に横浜市のららぽーと横浜で開催された「ふくしまフェスタ in ららぽーと横浜」に出展しました。

当事務所のブースでは、県中地方の6次化商品「酒ケーキ（天栄村）」や「さるなしラスク（玉川村）」、「ハバネロ味噌（平田村）」の試食・PRを行い、6次産業化・新商品等の購入に関するアンケートを実施しました。また、アンケートの回答者やブースに立ち寄って頂いた方に「ブルーベリー飴（三春町）」を配布して、ブース内に「チェーンソーアート（古殿町）」や各種パンフレットを展示し、6次化商品のPRを行いました。

9月1日には県中地方・地域産業6次化ネットワーク会員のえんどうワイナリーが出展し、自家栽培のブドウを使用したワイン等の試飲・販売を行いました。



【ブースの様子】

## ふくしま道の駅・空の駅まつりに出展しました！（「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン&6次化商品PR）【企画部】

9月8日、福島空港で開催された「ふくしま道の駅・空の駅まつり」に出展し、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県産農林水産物PR（第2回）及び6次化商品PRを実施しました。ブースでは消費者アンケート及び農林水産物クイズに回答いただいた450名に玉川村産のさるなしドリンク、なしりんごしおたかつとしのいずれかをプレゼントし、さるなし生産者の塩田勝利さん（玉川村）から生産地の紹介や6次化商品のPRをしていただきました。

また、県中地方・地域産業6次化ネットワークブースでは薄井農園のりんごジュースや株式会社亀饅の大福等、県産農林水産物を使用した商品の販売・PRを行いました。



【キャンペーンの様子】



【6次化商品の販売・PRの様子】



## 第4回 JA 夢みなみ育成管理共進会が開催されました！【須賀川農業普及所】

9月14日に、種牛性・産肉性の優れた質量兼備の牛群整備と、飼養管理技術の向上を目的に、第4回JA夢みなみ育成管理共進会が開催されました。生年月日等の出品区分で、第1区から5区まで分けられ、体重や体高、肉付きや毛並みなどを基準に、全61頭が審査されました。

審査の結果、14頭が優等賞に選ばれ、その中から、須賀川地区大東支部の溝井宏明氏の「みつてるしげ号」が見事グランドチャンピオンに選出されました。

優等賞に選ばれた14頭はJA夢みなみの代表として、10月29日に開催される第29回JAグループ和牛育成管理共進会へ出品されます。



【グランドチャンピオン「みつてるしげ号」】



【共進会の様子】

## 認知度 No. 1 は有機 JAS マーク！オーガニックマルシェでアンケート実施！【農業振興普及部】

9月18日、「オーガニックふくしまマルシェ」（会場ビックパレットふくしま、環境保全農業課主催）において、環境にやさしい農産物に貼付される4種のマーク（図表）の認知度と購入の有無についてアンケート調査を実施しました。マークの認知度は、高い順に「有機」、「エコファーマー」、「特別栽培農産物」、「FGAP」となりました。購入の有無は、「有機」、「特別栽培農産物」、「エコファーマー」、「FGAP」の順となり、有機農産物は約7割の方が「購入したことがある」と回答し、食味がよいことや小さいお子さん、家族の健康のために購入されているとのことでした。環境にやさしい農産物の利用によりSDGs（持続可能な開発目標）の実践につながります。マークを知って、積極的に購入してみたいかどうでしょうか。



【(図表) 4種のマークの紹介】



【アンケート調査の様子】

## フレッシュ農業ガイド講座を開催しました！【田村農業普及所】

9月20日、26日に、県立小野高等学校で「農業と環境」を選択する生徒37名（2年生17名、1年生20名）を対象に、フレッシュ農業ガイド講座を開催しました。本講座は、地域農業者との交流や意見交換、生産現場の視察を通じて、就農への動機付けや農業に対する関心を高めることを目的としています。

今回、管内農業者のほ場（ピーマン、トマト、ニンニク、水稲、コギク）、JA福島さくらピーマン共同選果場、米全量全袋検査場を視察しました。生徒達は、栽培技術や農業経営の考え方や意見交換を通じて理解を深めるなど有意義な講座となりました。



【大規模水稲農業者ほ場視察の様子】



【ピーマン選果場視察の様子】

## ふくしま農業人フェアが開催されました！ 【農業振興普及部】

9月21日に、福島県農業総合センターにおいて就農相談会「ふくしま農業人フェア」が開催されました。フェアには県内より45の自治体、農業法人などが出展し、就農を希望する社会人や学生など87組が相談に訪れました。管内からは新規就農ブースに3市・1団体、雇用就農ブースに7法人が出展、のべ60組を超える相談者が訪れ、新規参入、雇用就農、就農前の研修制度、資金などの相談があり、各相談者から就農への高い関心と意欲が感じられました。

今回の相談者が新規就農者となり活躍できるよう市町村、関係団体と連携し支援して行きます。なお、就農相談は随時受け付けていますので希望される方はお近くの普及部・普及所までご連絡ください。



【就農相談の様子】

## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン 県中地方特産品プレゼント抽選会（第1期）を開催しました！ 【企画部】

当キャンペーンは、消費者の皆様へ、県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、県産農林水産物の消費拡大と地産地消を促進するため、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店に登録されている24常設直売所における購買者を対象としたプレゼント企画です。この度、第1期応募期間（7月1日～8月31日）が終了したため、9月24日に抽選会を開催し、渡部県中農林事務所長の抽選により、応募者95名（495口）から当選者20名を決定し、FGAP認証を受けた郡山市産梨及び6次化商品等を送付しました。

第2期応募期間は9月1日～11月30日となっておりますので、皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております。



【抽選会の様子】

## 第4回 JA 福島さくら和牛共進会が開催されました！ 【田村農業普及所】

9月28日、JA福島さくら畜産センター（田村市常葉町）において、標記共進会が盛大に開催されました。今年度は全44頭が出品され、管内の農業者が、日頃の管理や飼養技術の成果を十分競い合いました。各区の優等賞を獲得した牛は、10月29日の「第29回JAグループ和牛育成管理共進会」へ出品されます。ハイレベルな共進会が予想されますが、日頃の出品技術と飼養管理技術が遺憾なく発揮できるものと思います。

当普及所としても、牛の飼養管理や繁殖成績等の向上を支援していきます。



【共進会の様子】



【最優秀賞「さやか号」】



# 頑張る農林業者！！



## ～株式会社アメリカ屋（郡山市）～

株式会社アメリカ屋は、素材生産等を行うほか、平成 11 年に木くずのリサイクル施設、昨年は年間生産能力 3 万 t のチップ製造施設を整備し、木質バイオマス燃料等となるチップ製造を行うとともに、森林整備と放射性物質対策を一体的に推進するふくしま森林再生事業を受託する県中地域の中核的な事業体です。素材生産等において、生産性向上や労働負荷低減を図るため、林業機械約 60 台を導入するほか、VR 機能を有する木材輸送用トラックやタブレットによる現場管理等の最新技術も積極的に採用しています。また、県主催の地元高校生を対象にした林業現場見学会や各種研修会において、現場でのデモを実施するなど後継者育成にも熱心に取り組んでいます。さらに、今年より運用が開始された「新たな森林管理システム」においては、これまでの豊富な経験を活かした、「意欲と能力のある林業経営者」として今後の活躍が期待されます。

この度の台風 19 号による被災からの一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。



【現場見学会】



【VR 機能を有する木材運送用トラックの見学】

## おいしい6次化商品

### ★ 石川町の大野農園 ORAGENO（オラゲーノ）のピザ ★

おすすめは、おやつにもぴったりのスイーツピザ「りんごとシナモンピザ」です。生のりんごが使われており、甘すぎないので素材の味をしっかりと感じられます。

ピザの具材には旬の果物や野菜が使われ、その時期にしか食べられないものもありますので、HP や Twitter もチェックしてみてください！

今回ご紹介のピザは、キッチンカーでしか味わうことが出来なかったのですが、ORAGENO の店舗（大野農園の直売店）でも、今年から食べられるようになりました。お店では、大野農園自慢の果物を使用したジュースやお菓子等の 6 次化商品も多数販売されています。

もっちりとした生地の上に散りばめられた福島県産の果実、野菜、生産者の想いのこもったピザをご堪能ください！



【りんごとシナモンピザ】



大野農園

〒963-7826 福島県石川郡石川町赤羽字新宿 130  
TEL\*0247-57-6004 FAX\*0247-26-0500  
HP\*<http://www.oononouen.com>  
Twitter\*<https://twitter.com/oononouen>



【地図】

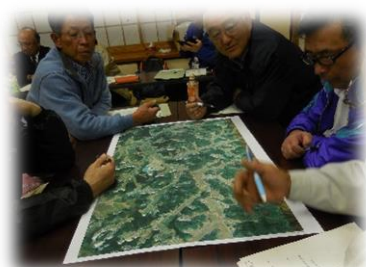
## 各部・各普及所の紹介(須賀川農業普及所)

須賀川農業普及所は、所長、次長をはじめ地域農業推進課4名、経営支援課9名、農業振興公社駐在員1名、派遣職員2名、臨時事務補助員2名の20名で業務を行っております。

**地域農業推進課** 新規就農者・定年帰農者・企業農業参入等の多様な担い手の確保・育成、集落営農等の推進、「人・農地プラン」の作成、農地集積の推進、大規模経営体の育成や法人化の取組、水田農業の確立、6次化の支援を行っています。

特に、新規就農者の着実な定着に向けて、関係機関と連携してフォローアップの実施や研修会の開催等に取り組んでいます。

**経営支援課** 当地域を代表するキュウリをはじめとした収益性の高い園芸産地の育成や県内でも有数の畜産産地の育成、中山間地域における特産物の山菜、さるなし、ブルーベリーなどの産地育成や鳥獣害対策のモデル地区等の設置などの支援を行っています。特に、園芸品目では施設化や複合環境制御技術、電照栽培等の導入推進、ネギなどの土地利用型野菜の産地育成に向けて生産性向上に向けた取組を支援しています。さらに、第三者認証GAPの取得を推進しています。



【集落座談会】



【キュウリの基礎力アップ研修会】



【ナスの日射制御型自動かん水現地検討会】

## お知らせ

### 農業用ため池の届出について！ 【農村整備部】

令和元年7月1日に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が施行されました。それにより、農業用に利用される全てのため池を所有又は管理されている方は、12月末までに県に届出をしてください。(法律施行後に造られたため池は所有者が申請する)

**【届出先】** 県中管内の土地改良区は県中農林事務所に、それ以外の方はため池が所在する市町村に届出してください。

**【県中農林事務所窓口】** 農村整備部 農地計画課024-935-1333

**【届出書類】** 1 「農業用ため池の届出書」※

2 届出者が法人の場合は、法人の定款又は寄附行為の写し

3 その他参考となるべき書類

(1) 該当ため池の位置がわかる資料

(2) ため池の敷地である土地の登記事項証明書の写し

(3) ため池の総貯水量、堤高、堤頂長が記載された既存資料又は算出(求め方)を記したものの写し

※届出書の様式は県ホームページからダウンロード、または県、市町村窓口にお問合せください。

(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36045d/nouchikanrika100.html>)

## きのこ等の出荷制限等について！ 【森林林業部】

栽培きのこは、一部の市町村で出荷制限品目がありますので、下記ホームページで確認いただくか、最寄りの農林事務所森林林業部にお問い合わせください。

一方、野生きのこは、中通りと浜通りの全市町村、会津地方の一部の市町村で出荷制限中です。品目によっては、一部解除になった野生きのこもありますので、同ホームページで確認ください。

また、出荷制限中の野生きのこは、基準値（100Bq/kg）以下であっても販売・譲渡はできませんので御注意ください。

なお、会津地方の出荷が制限されていない野生きのこを採取し販売等を行う場合は、最寄りの農林事務所森林林業部にお問い合わせいただき、モニタリング検査を受けてください。

○福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報

<https://www.new-fukushima.jp/>

○お問い合わせ先

福島県県中農林事務所 森林林業部林業課

電話：024-935-1367 FAX：024-935-1337



お問い合わせはこちら！



福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510

FAX 024-935-1314